

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	緑のおもしろ講座・柏 「キノコワールドへようこそ！～色や形そしてパワーを楽しもう～」		
開催日時	2021年10月23日（土）10時30分～14時30分		
開催場所	柏市、手賀の丘公園	一般参加者	14名

活動概要

緑のおもしろ講座・柏の2021年度後期、第1回目の講座として、「キノコワールドへようこそ！～色や形そしてパワーを楽しもう～」を開催した。

公園内の遊歩道を歩きながら、キノコを探し、開けた、スギやマツの混じる、コナラ、シラカシの混成林で時間を取り、キノコを観察した。ヒメツチグリ属やホコリタケ属のキノコなど、従来、腹菌類と呼ばれていたキノコが多く見られた。次に倒木が積んである場所で硬質菌を中心に木材腐朽菌が見られたので、カワラタケ、カイガラタケ、ヒイロタケなどの説明を行い、1cmに満たない小さいキノコながらも、傘、髯、柄を持つホウライタケ属のキノコなどにも注目してもらった。

野鳥観察場所となっている池の方へ移動し、やや湿った場所にハタケシメジなどのシメジ属のキノコが見られた。さらに、キャンプ場の付近を歩き、スッポンタケの幼菌やシタラマタケなどの腹菌類、木材腐朽菌のベッコウタケ、コフキサルノコシカケなどが見つかった。

参加者が採ったキノコをベンチの上に並べ、同定と説明を行った。スッポンタケの幼菌は参加者にも切ってもらい、ゼラチン状の中身の柄になる部分や頭部となる部分を観察してもらった。

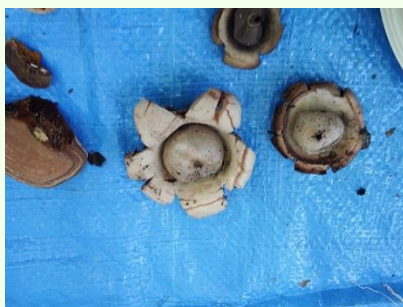
9月から高温と少雨が続き、キノコの発生が悪く、種類が少ないのではないかと心配していたが、50種類程度の比較的多くのキノコが観察され、スッポンタケの幼菌や食用のハタケシメジも見られ、参加者も概ね、満足されたようであった。



並べたキノコ



同定作業



ヒメツチグリの仲間



スッポンタケ幼菌

F I C 講師

風見、田中、板倉、有光、平尾

本サイトの記事・画像等の無断転載は禁じます。

(作成：平尾信三) ver2021